



宝永小だより

No.5

福井市宝永小学校

令和8年6月9日

学校教育目標:ひとり立ちできる子 ~心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成~
めざす児童像:進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

楽しもう「どんと宝永」・「宝永音頭」 5月13日(水)

本年度も全校で、「どんと宝永」と

「宝永音頭」の練習をしました。昨年度から新たに「宝永音頭」にも挑戦しました。4年目となりましたが、宝永公民館の民謡クラブの皆様にご来校いただき、子どもたちは手解きを受けました。そして、繰り返し練習するうちに、多くの子どもたちが、間違えずに踊ることができるようになりました。おかげで、宝永区民体育祭の当日、たくさん子どもたちが「どんと宝永」と「宝永音頭」を楽しく踊り、地域の一員としての役割を果たすことができました。子どもたちからは「区民体育祭は、楽しかった。」という声がたくさん聞かれました。民謡クラブの皆様、誠にありがとうございました。



＜「どんと宝永」練習の様子＞

1・2年生 生き物の観察と触れ合い 5月15日(金)

1・2年生で、越前松島水族館に行きま

した。1年生にとっては、初めての校外学習です。イルカショーを見たり、ペンギンの散歩を見たりすることができました。「海洋館」の「さんごの海」では、ガラス張りの水面で、海面浮遊体験をすることができました。「ふれあい館」では、海の生き物に直接触って観察することができました。また、パビリオン「みずだこ館」では、世界最大種のミズダコに触れることができました。子どもたちは、それぞれのコーナーで、楽しい時間を過ごすことができました。特に2年生の子どもたちは、異学年で構成されたグループで行動する中で、上級生らしく、1年生の子どもたちに優しく声をかけながら、仲良く活動することができ、お兄さん・お姉さんとしての自覚を強く感じました。



＜水槽をのぞき込む子どもたち＞

6年生 税金について学ぶ 5月15日(金)

福井税務署の方に来ていただいて、「租税教室」を実施

しました。社会科で学んでいる「税」について、税金の種類や税金が何に使われているかを専門家から学びました。

「税金がある町とない町を比べてみよう!」の場面では、「税金のある暮らし」と「税金のない暮らし」の絵を比較することで、税が自分たちの生活に、どのように役立っているかを考えることができました。そして、税金は、自分たちが安心して豊かに暮らすために、身近なところで使われていることを知りました。自分たちが平等に教育を受けられるように、国や地方が負担する年間教育費(令和4年度)は、小学生一人当たり約 941,000 円だそうです。子どもたちは、その金額の大きさに驚いていました。さらに、北陸新幹線や中部縦貫自動車道の建設工事、福井県立恐竜博物館、除雪にも、税金が使われていることを知り、子どもたちの税金についての関心が、より高まったようです。また、「どうやって税金を集めるとよいか」を考えるグループ活動では、一律同じ額で集める方法や一律同じ割合で集める方法などが提案され、その後、日本の税制度も同様な考え方で成り立っていることを、福井税務署の方から伺いました。子どもたちは難しい内容の話を、しっかりと自分事として考え、受け止めていました。



＜考えを伝え合う子どもたち＞

＜6年児童の感想＞「どうやってお金を集めるか」で、色々な意見があっっておもしろかったです。だれがどれだけ払うかは、平等でなくてもいいとわかりました。

＜6年児童の感想＞税金は思っていたよりも身近にあって、社会の安心安全のために集めて使っていることを改めて知りました。

緊急時の引き渡しに備える 5月18日(月)

大きな地震の発生後に、

子どもたちが校庭で保護者の皆様を待っているという想定で、引き渡し訓練を実施しました。緊急メールで引き渡し開始の連絡を受信後、保護者の皆様には、徒歩でご来校いただきました。保護者の皆様のおかげで、速やかに引き渡しことができました。ご協力、ありがとうございました。今後、大規模災害等の不測の事態が起きても、保護者の皆様への引き渡しを円滑・安全・確実に成し遂げます。



＜引き渡しカードにサインをして完了＞

先輩が来校、元気なあいさつが響く

5月19日(火)・20日(水)

進明中学校区(進明中、宝

永小・松本小・啓蒙小)の「小中合同あいさつ運動」を行いました。進明中学校の生徒が母校の小学校に出向いて、登校時のあいさつ運動に参加する取組です。

本年度も、進明中学校の生活委員の生徒と有志が集まってくれました。初日には本校を卒業した中学1年生6名が、2日目には中学2・3年生15名が、本校の児童玄関前で、登校してきた子どもたちとあいさつを交わしてくれました。また、本校の6年生の子どもたちも児童玄関前であいさつ運動に加わりました。後輩たちを見つめ、大きな声で、お手本となるようなあいさつを交わしてくれる中学生の先輩たちの姿は、凛々しい限りでした。本校に何年も勤務している教員は、久しぶりに再会した中学生の心身共に立派に成長した姿に感動していました。中学生の皆さん、ありがとうございました。



＜目を見て、元気よく、笑顔であいさつ＞

にこフレ班での交流「1年生を迎える会」

5月19日(火)

まず、2年生の子どもたちが1年生の子どもたちをエスコートして、体育館へ入場しました。企画・生活委員の「初めの言葉」で、会が始まりました。そして、1年生の自己紹介では、自分の名前と好きなもの(食べ物・こと・スポーツなど)を大きな声で発表するのに合わせて、ペアの2年生が名前と好きなものの絵を描いたうちわを掲げました。

その後、2～6年生が「やあ!」の歌をプレゼントしました。それに応えるように、1年生がスタジオジブリ映画『となりのトトロ』のオープニングテーマ「さんぽ」を、元気に可愛らしく披露しました。歌が終わると、2年生が1年生の子どもたちを迎えに行き、それぞれのにこフレ班に1年生の子どもたちを迎え入れました。

ここからはにこフレ班ごとに円隊形となり、企画・生活委員が考えた「言うこと一緒、やること一緒」と「言うこと一緒、やること逆」を楽しみました。にこフレ班のメンバーが全員で手をつなぎ、企画・生活委員の「前、後ろ、右、左」の指示を聞いて、手つなぎを保ったまま心を一つにして同じ方向、または逆方向に動きました。うまくいったときもうまくいかなかったときも、会場は笑顔でいっぱいになりました。最後に感想交流し、企画・生活委員の「終わりの言葉」で、温かい雰囲気の中、終了しました。



＜「言うこと一緒、やること逆」＞

このような「にこフレ班」での活動を通して、異学年でも仲良く楽しく学校生活を送ってほしいと思います。「にこフレ活動」を充実することで、思いやりの心を育み、温かい人間関係のある集団づくりを目指します。また、お互いの名前前で呼び合う関係性を築いていきたいと考えています。

＜2年児童の感想＞1年生のうたがたいいくかんいっばいにひびいていてすごかったし、ふりつけやなまえをしっかりいえていてすごいと思いました。ゲームではさいしょ、「いうこといっしょ、やることいっしょ」をしてかんたんだったけれど、さいごには「やることぎゃく」をやってみずかしかったです。「やあ!」のうたで大きな声ではっきりうたうことができました。はんのみんなできょうりよくでき、たのしくかつどうできました。

＜5年児童の感想＞今日、1年生をむかえる会をして、1年生の名前や好きな物を知ることができてよかったです。班のみんなと協力しながらゲームができて仲を深めることができました。1年生が歌ってくれた歌は、すごくきれいに歌っていたので、たくさん練習したのだと思いました。これからも、1年生との交流を増やして、仲を深めていきたいです。

＜6年児童の感想＞私は班のみんなと、いっしょにゲームはできなかったけれど、ステージの上で司会をしていて、みんなの笑顔が生まれるような司会ができてよかったです。1年生の自己紹介で、1年生もとても大きな声で発表できていたし、2年生の皆さんも、手をしっかり挙げていてすごくりっぱだと思いました。ゲームの司会・進行は、みんながゲームをしていて楽しい方向を言ったり、「前」「前」「前」と続けることで、ちょっとむずかしくしたりして、ゲーム進行でも工夫して、できたのではないかと思います。歌を歌ったときには「やあ!」と気持ちよく、1年生をかんげいしながら歌えて、とてもいい歌になりました。

なるほど・・・食に関する指導

5月20日(水)

本校では、〇〇 〇〇 学校栄養職員補助が毎月来校し、給食配膳の指導の他、各学年に1～2時間ずつ、食に関する指導をします。今年度の食に関する指導の予定は、次のようになっています。

- ・1年生「給食ができるまで」 5月20日(水)
- ・1年生「食事のマナー」 7月8日(水)
- ・2年生「野菜ってすごいな」 9月18日(金)
- ・2年生「早寝・早起き・朝ごはん」 11月24日(火)
- ・3年生「食べ物の働きを知ろう」 12月11日(金)
- ・4年生「よくかんで食べよう」 10月28日(水)
- ・5年生「しっかり食べよう 朝ごはん」 6月23日(火)
- ・6年生「骨や歯を丈夫にしよう」 1月22日(金)

初回は、1年生の子どもたちが、「給食ができるまで」について学びました。給食が給食センターで作られていく様子を動画視聴したり、実際に給食センターで使っている大型のしゃもじやおたまを触ってみたりして、子どもたちは給食を身近に感じることができました。子どもたちには好き嫌いをせず、おいしく残さず食べきってほしいと願っています。



＜大型のしゃもじやおたまを触る＞